



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
 学校だより 第4号
 【発行日】 令和2年9月10日
 【連絡先】 022-296-8101
 【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

中・高で知恵をしぼって 感染予防対策をして文化祭実施

9月4日（金）に、中高で文化祭が行われました。例年であれば、保護者の皆様をはじめ、地域の方々、中高生がたくさん来校し、高校生が開く出店や、ステージ発表で賑わうのですが、今年の文化祭は新型コロナウイルス感染症対策に配慮した形で行われました。

食品の販売は行わず、ステージ発表も行いません。密になることを避けるために、一般公開はできず、教室を使った展示発表もできません。準備の段階では、こんな状況で、本当に開催できるのだろうか、開催できたとしても生徒が楽しめるのだろうかと心配になりましたが、中高の文化祭実行委員会は、開催を諦めませんでした。

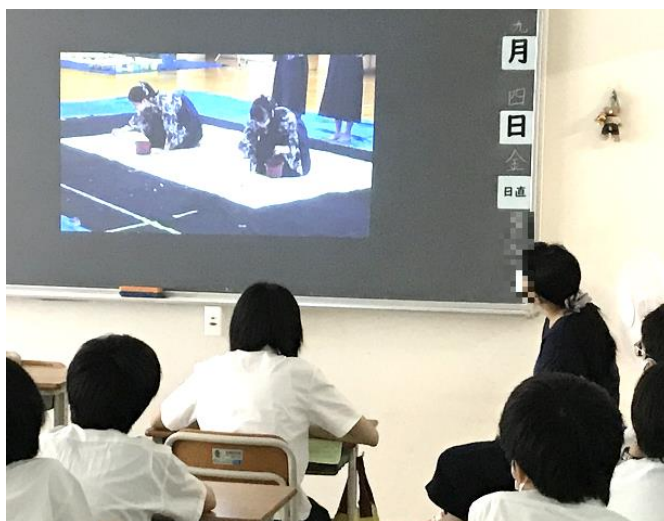
展示発表は、体育館を使用し、密を避けるために、学年ごとに見学をするローテーションを組みました。また、ステージ発表の代替案として、文化部や有志があらかじめ作成した動画を、各教室で視聴する形式をとりました。

中学校の生徒は、午前中に展示見学（1時間）と動画視聴（1時間）を行い、午後は引き続き動画視聴（2時間）となりました。合計すると動画視聴の時間が3時間となりましたが、文化部の発表や、ドラマ仕立てのチャリティー動画、ダンスやクイズ番組と様々なジャンルの作品が紹介されたので、生徒は最後まで集中して視聴していたようです。

工夫を凝らして開催にこぎ着けた文化祭実行委員や、発表の形態を制限されながらも、作品を仕上げてきた文化部の生徒たち、そして文化祭を盛り上げるために動画を作成してくれた生徒たちの活躍が光った一日でした。



体育館に展示スペースを設けました



教室で動画を視聴する生徒たち

やればできる 全校制作が展示

例年の文化祭では、中学校は4つの縦割りグループに分かれて、それぞれが集団制作、劇、ダンス、アトラクションを担当していました。しかし、今年度は密を避けるために、劇、ダンス、アトラクションの活動は見送られました。そこで、集団制作を全校制作として、生徒全員で取り組むことにしました。

全校制作は、実行委員がデザインした原画を元に、巨大なキャンパスに「点描」のように、約1cm四方の16色の折り紙を貼り付けて、巨大な貼り絵を作り上げるものです。全校制作で準備した折り紙の合計は、213,840ピース。途方もない数です。昨年は、集団制作グループの100名を超すメンバーを一堂に集めて、作り方の説明をしたのですが、今年は大勢を集めて説明することすらできません。そこで、集団制作の経験のある3年生が、1年生の各教室を訪れて作り方の説明をすることになりました。生徒らがプレゼンテーションソフトを使って、説明するのを1年生は熱心に聞いていました。そしてできあがったのが、下の作品です。

中央に大きく書かれた「やればできる!!」の文字。コロナ禍で数々の行事が中止や大幅縮小されている中で、自分たちは文化祭をやり遂げたいんだという生徒の気持ちが表れているようです。今年の文化祭は、規模を縮小して、生徒の取組も大幅に変更して開催されました。しかし、生徒たちは、実行委員を中心によく考え、創意工夫をこらした発表をすることができました。今年の文化祭は、現在の状況を冷静に判断して、新しい生活様式を守って行われたすばらしものだったと思います。コロナに負けずに、文化祭を作り上げた生徒たち全員に拍手を送りたいです。



3年生の説明を熱心に聞く1年生



中学生全員で作成した全校制作作品。大きさはおよそ縦3.6m×横5.9mです。